

# 地域スポーツコミッション シンポジウム2023

参加費  
無料

2023  
2/21 火

会場 浅草橋ヒューリックホール  
(東京都台東区浅草橋1-22-16ヒューリック浅草橋ビル)

定員 300名  
現地(150名)  
オンライン(150名)

申込先着順  
受付

## 【プログラム】メイン会場 (ホール)

13:00~

- ◆主催者あいさつ  
室伏 広治 (スポーツ庁長官)



室伏 広治

13:05~

- ◆基調講演「スポーツを通じた社会課題解決」  
村井 満氏 (株式会社ONGAESHI Holdings代表取締役CEO / 第5代Jリーグチェアマン)  
コーディネーター：  
原田 宗彦氏 (一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構会長 / 大阪体育大学学長)

休憩 20分

14:25~

- ◆地域スポーツコミッション先進事例紹介
  - ・一般社団法人高知県スポーツコミッション (2022年度スポーツ庁補助事業採択 / 民間主導で設立)  
岡崎 史晃氏 (事務局長)
  - ・スポーツタウン御殿場推進協議会 (2022年度スポーツ庁補助事業採択 / 東京2020大会レガシー)  
西山 洋哉氏 (御殿場市産業スポーツ部 スポーツ交流課 スポーツツーリズムスタッフ 副参事)
- コーディネーター：藤原 直幸氏 (一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 地域スポーツ戦略ディレクター)

休憩 15分

15:30~

- ◆地域スポーツコミッションの人材活用について
  - ・特定非営利活動法人銚子スポーツコミュニティー (廃校活用合宿施設 / 副業・兼業人材の活用)  
小倉 和俊氏 (理事長)
  - ・フェンシングのまち沼津推進協議会 (フェンシング / オリンピアン の活用)  
杉澤 教人氏 (会長)
  - ・一般社団法人土佐町スポーツコミッション (カヌー施設指定管理 / 地域おこし協力隊の活用)  
古賀 智志氏 (専務理事・事務局長)
- コーディネーター：高橋 義雄氏 (筑波大学大学院 人間総合科学学術院 准教授)

16:45~

- ◆今後のスポーツ庁の取り組みについて  
田中 一明 (スポーツ庁参事官 地域振興担当)

## 「スポーツを通じた社会課題解決」

村井 満 氏（株式会社ONGAESHI Holdings代表取締役CEO / 第5代Jリーグチェアマン）

〈コーディネーター〉原田 宗彦 氏（一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 代表理事 / 大阪体育大学学長）



村井 満 氏

㈱リクルート（現リクルートホールディングス）の人事担当役員、㈱リクルートエージェント代表取締役社長、リクルート・グローバル・ファミリー香港法人社長・会長を経て、民間企業から初の起用となる公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）第5代チェアマンに就任。4期8年にわたる任期を終え、現在名誉会員。株式会社ONGAESHI Holdings代表取締役CEO。



原田 宗彦 氏

ペンシルバニア州立大学健康・体育・レクリエーション学部博士課程修了（Ph.D.）。フルブライト上級研究員（テキサスA & M大学）、大阪体育大学教授、早稲田大学スポーツ科学学術院教授を経て、2021年より現職。主な著書に『スポーツ都市戦略』（2016年度不動産協会賞受賞）など。現在は、観光庁「国際競争力の高いスノーリゾート形成の促進に向けた検討委員会」、スポーツ庁「スポーツによる地域活性化・まちづくりコンテンツ創出等総合推進事業PT」座長を務める。

## 地域スポーツコミッション先進事例紹介

〈コーディネーター〉藤原 直幸 氏（一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 地域スポーツ戦略ディレクター）

### 一般社団法人高知県スポーツコミッション：民間主導で設立

高知県のスポーツ振興に向け「県内外のステークホルダーを結び付け下支えする実働部隊」を目指し、民間主体で2021年9月設立。高知県内の自治体をはじめプロチームや大学との連携を積極的に行い、域内と域外の事業を両立。指導者の派遣マッチング業務、スポーツ大会の事務局代行、スポーツイベント・合宿誘致など活動は多岐にわたる。

岡崎 史晃 氏（一般社団法人高知県スポーツコミッション 事務局長）

### スポーツタウン御殿場推進協議会：東京2020大会レガシー

2016年設立のスポーツツーリズム推進組織と、東京2020大会関連事業を推進してきた官民連携組織が発展的に改編され2022年4月に設立。参画団体を中心に4つの部会を運営。東京2020大会のレガシーとして、サイクルスポーツのまちづくり、空手のまちづくりを推進している。12月にはレガシー大会として「KARATEDO Mt.Fuji Junior Championship in Gotemba」を初開催。

西山 洋哉 氏（御殿場市産業スポーツ部 スポーツ交流課 スポーツツーリズムスタッフ 副参事）

## 地域スポーツコミッションの人材活用について

〈コーディネーター〉高橋 義雄 氏（筑波大学大学院 人間総合科学学術院 准教授）

### 特定非営利活動法人銚子スポーツコミュニティー：副業・兼業人材を活用した事例

スポーツによる地域活性化を目指し有志のサイクリング仲間により2014年5月法人設立。サイクリング大会「犬吠埼エンデューロ」などを企画・開催。2018年に銚子市の第三セクターである株式会社銚子スポーツタウンを設立し、廃校を活用した合宿施設の運営を開始。野球チーム「木樽ドリームズ」や加藤友里恵ランニング教室の運営も行う。近年では銚子特有のマリンアクティビティ「屏風ヶ浦シーカヤック」「ちょうしイルカウォッチング」とも連携し地域内外の利用促進を図っている。

小倉 和俊 氏（特定非営利活動法人銚子スポーツコミュニティー 理事長）

1965年銚子市生まれ。学生時代ラグビーで国体出場、キリマンジャロ登頂、ピラニア釣りで世界旅行。1991年にUターン。社会人で登山、サイクリング、トライアスロンで全国各地を駆け巡る。現在NPO法人銚子スポーツコミュニティーと銚子管工事協同組合の理事長、(株)銚子スポーツタウンと和光設備㈱の代表取締役、野球チーム木樽ドリームズ代表、ちは銚子熱中小学校教頭。

### フェンシングのまち沼津推進協議会：オリンピックが事業を推進している事例

フェンシングの地方拠点都市（≒フェンシングのまち沼津）というブランド形成を目指し2020年6月に設立。沼津市、民間企業、関連団体により構成される官民連携の協議会で、フェンシングを通じたスポーツツーリズム推進による交流人口の拡大や地域産業の活性化に取り組んでいる。2021年6月には拠点施設となる「F3 BASE（エフスリーベース）」を沼津駅直近にオープンするなど、環境整備を進めるとともに、フェンシングの普及啓発、シンボルフェンサーの育成、大会・合宿の誘致などに取り組んでいる。

杉澤 教人 氏（フェンシングのまち沼津推進協議会会長）

1975年沼津市生まれ。1998年日本大学理工学部卒業後、2001年家業である㈱大志建設に入社、2004年代表取締役就任。20代から青年会議所等のまちづくり団体で活動し、現在は「まちづくりネットワーク」と名乗り、地域での人的ネットワークを活かした活動を行っている。フェンシング未経験者ながら協議会立ち上げの相談を受け、多くの会員企業への呼びかけを行う。2020年に初代会長に就任し、現在に至る。

### 一般社団法人土佐町スポーツコミッション：地域おこし協力隊を中心に運営している事例

土佐町が手掛けてきたスポーツと自然体験の地域振興策をより効果的かつ機動的に推進することを目的に2021年4月設立。「四国の水がめ」と呼ばれる早明浦ダム（さめうら湖）とその周辺環境を活かした取り組みを行っている。艇庫に加え、湖ガイドツアーなどツーリズムの拠点機能を備えた「カヌーテラス」、競技カヌークラブ「カヌーアカデミー」、さらには湖を一望できるキャンプ場「テントパーク」、これらの運営管理に関する様々な業務を協力隊が中心となって担っている。

古賀 智志 氏（一般社団法人土佐町スポーツコミッション専務理事・事務局長）

1986年大学卒業後、テルモ株式会社に入社。病院向け医療機器の営業（MR）を皮切りに人材開発（採用・育成）、広報（投資家向け・マスコミ）、ドイツ医療機器メーカーとのJV経営などに携わる。2021年に土佐町がスポーツコミッション事務局長を公募しているのを知人のSNSで発見。組織運営や広報戦略などの募集要項に「ピンときて」翌日には履歴書を送付、東京から土佐町に移住し、現在に至る。

